

平成26年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	農家とつながる生ごみ堆肥化、資源活用事業	[1]
申請団体	ダンボールコンポスト古淵・鶴野森	
事業目的等	<p>生ごみを焼却するのではなく堆肥材として資源化することでごみの減量を図る。地域住民と農家との協働で生ごみの地域内循環を広め、畑を畑として残すことで自然環境が保たれ、かつ都市部の住宅に囲まれた畑は防災上必要な場所ともなる。また安全で安心な作物がとれ、それを地域で消費する地産地消の取り組みをし資源循環の素晴らしさを伝える。</p>	
交付決定日	平成26年 7月4日	
交付決定金額	80,000 円	(全体事業費 80,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績 参加家庭での生ごみ堆肥化(5月～翌3月)を行い、2ヶ月に1度、堆肥場へ持ち込み混ぜ込み作業を6回行いました。ダンボールコンポスト作りの講座(9月と2月)を2回行うことができました。</p> <p>自己評価 この事業の目的としている生ごみを焼却せず資源化することができ、ごみの減量が図られました。市が掲げている「1人一日約100gの減量」は達成できていると思います。生ごみ堆肥で作ったジャガ芋や里芋の収穫もし、食して地産地消の取り組みも出来ました。</p>	
市評価	<p>講座参加者の6名うち1名は、生ごみ堆肥化への興味は示すもののできた堆肥を農家へ収めるため、自分で使えないという理由から会員とならなかったが、他の5名の方は会員となった。しかし、脱退する会員もあり、現在の会員数は、昨年度会員数より1名減って26名。*今後もっと地区へ波及できる工夫を行い、安定的に堆肥を提供できる体制を整え、協力農家(現在1軒)を増やして事業が更に広がるよう努めていただきたい。</p>	
備考		

平成26年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	消防団活動活性化地域啓発事業	[2]
申請団体	相模原市消防団南方面隊第三分団第8部(大野台消防団)	
事業目的等	広く消防団活動の公報を行い、活動への理解を深め、団員募集をはかり、地域と連携し、より実効性の高い防災活動を行うこと。	
交付決定日	平成26年 12月18日	
交付決定金額	86,000 円	(全体事業費 86,400 円)
団体実績報告	<p>事業実績 「大野台消防団」の名前の入ったのぼり旗 20 本を作成し、地域内への掲示等の使用により、地域防災啓発活動と消防団活動への理解を深めるための広報活動を行った。</p> <p>自己評価 防災活動には、消防団だけの取り組みではなく、地域全体での協力が必要と考えられ、これからも呼びかけや啓発活動を継続し、地域と一体となって取り組みを進めたいと感じた。</p>	
市 評 価	新規に発足した大野台消防団であるが、他の消防団と同様に消防団員の高齢化や担い手不足といった状況は共通の課題となっている。その課題解消の手段として団名入りのぼり旗を用いた啓発活動を実施した。地域住民に対する消防団活動の周知、防災意識向上といった目に見えない効果は、着実に地区内に根付いているものと評価できる。	
備 考		

平成26年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	安全あんしん救出グッズ事業 [3]
申請団体	4自治会合同自主防災隊
事業目的等	家屋の倒壊等による被災者や病人等に対し、本人の症状に合った治療を迅速に実施するため。
交付決定日	平成26年 12月18日
交付決定金額	284,000 円 (全体事業費 284,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年2月17日磁気(マグネット)式「安心カード」2,000部完成。 ・平成27年2月21日から自治会役員、民生委員により「安心カード」の趣旨、目的を記載したメモを添えて全世帯に配付した。 ・自治会未加入者にも配付し、「自治会加入」を呼びかけた。 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁気(マグネット)式「安心カード」のため、冷蔵庫等に容易に添付することができた。 ・「ご近所欄」に近所の名前を書くことで「近所」の意識を高めることができた。 ・自治会未加入者の自治会加入を促がす良い機会となった。
市 評 価	<p>マグネット式「安心カード」は、高齢者や障害者などの災害弱者の緊急時の救命支援として、大変重要な事業である。また、マグネット式「安心カード」を自治会未加入世帯を含め全世帯に配付し、自治会未加入者の自治会加入を促がす良い機会となった。すぐには、自治会加入促進の成果は、現れないと思うが、今後も自治会加入促進に努めてもらいたい。</p>
備 考	

平成26年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区防犯啓発事業 [4]
申請団体	大野中地区自治会連合会
事業目的等	(1)「振り込め詐欺」の撲滅のため、地域住民へ「振り込め詐欺」の実態を広く周知する。 (2)地域の団体と連携し、大野中地区全体で「振り込め詐欺」撲滅に寄与する。
交付決定日	平成26年 12月18日
交付決定金額	592,000 円 (全体事業費 592,592 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り込め詐欺」の撲滅のため、バッグを1,200個作成した。 ・「振り込め詐欺」注意喚起のチラシ及びシールを28,000枚作成した。 ・「振り込め詐欺」の撲滅のため、バッグに「振り込め詐欺」注意喚起のチラシ及びシールを入れ、自治会の役員等で全世帯(自治会未加入世帯を含む)を訪問した。 <p>自己評価</p> <p>大野中地区の全世帯(自治会未加入世帯を含む)を訪問し、「振り込め詐欺」の撲滅に寄与できた。また、自治会未加入世帯を含む全世帯を訪問したので、自治会加入促進の良い機会とすることになった。</p>
市評価	「振り込め詐欺」の撲滅のため、自治会未加入世帯を含む前地域住民へ「振り込め詐欺」の実態を広く周知することができた。地域の団体と連携し、大野中地区全体で「振り込め詐欺」撲滅に寄与することができた。また、自治会未加入者の自治会加入を促がす良い機会となった。すぐには、自治会加入促進の成果は、現れないと思うが、今後も自治会加入促進に努めてもらいたい。
備考	

平成26年度 大野中地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	大野中地区民生委員児童委員協議会 災害支援対策事業	[5]
申請団体	大野中地区民生委員児童委員協議会	
事業目的等	<p>災害時要援護者に対する支援活動を行う。また、災害時には地区自治会と協力して災害時要援護者の支援にあたる。</p> <p>関連団体との連携を強化し、大野中地区全体に対して「災害に強いまちづくり」を行う。</p>	
交付決定日	平成26年 12月18日	
交付決定金額	570,000 円	(全体事業費 570,360 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>「災害時要援護者」となる、ひとり暮らし高齢者に対して、緊急連絡先や個人の情報などを記録する安心情報カードと災害時に必要となる物品を詰め合わせた「非常時携帯物品袋」を配付した。</p> <p>災害時を想定した要援護者の安否確認、見守り活動の実施に向けて、「災害時要援護者」となる方から「関係団体への要援護者情報開示の同意書」の作成、同意取得の計画については、検討を進めているが課題が多く、また関係団体との調整も必要であり、今後継続していく。</p> <p>自己評価</p> <p>「災害時要援護者」となる、ひとり暮らし高齢者に対して「非常時携帯物品袋」を訪問配付したことにより、ひとり暮らし高齢者と民生委員との間で一層良好な関係を深めることができた。このことは、今後の活動とする「関係団体への要援護者情報開示の同意書」取得に向けて、良い環境となっていると判断する。</p>	
市評価	<p>今回の災害支援対策事業は、災害時に一番犠牲になる可能性の高い「ひとり暮らし高齢者」に対して「非常時携帯物品袋」を訪問配付し、ひとり暮らし高齢者と民生委員との間で一層良好な関係を深めることができたことは、地域としての支援体制づくりの一環として大変重要なことだと思います。是非、次年度以降は障害者の方など他の災害時要援護者の支援体制も進めてもらいたい。</p>	
備考		